

地歴科 「世界史A」 学習指導案 (1限)

授業者 森 才 三

クラス 4年A組 43名(男子26名,女子17名)

場 所 社会科教室

1. 単元 近世君主国家の形成と宗教政策

2. 単元のねらい

高校1年生で実施される社会系科目においては、その導入部で、「中学校」社会科での学習内容をふまえ、「高校」社会系科目に対する関心と学習への意欲を喚起するような学習内容を用意する必要がある。そうした学習のあり方を示唆するものとして、世界史Bの「世界史の扉」の単元があるが、本小単元はそうした「世界史の扉」をふまえ、「高校」社会系科目の導入部の学習の一つのあり方を、世界史を事例として、提案するものである。

小単元は3つのパートから構成されているが、パート1では「気づかせる」ことをねらいとして関心と意欲の喚起をめざす。また、パート2・3では「考察させる」をねらいとして、それぞれイベリア半島と日本の「近世君主国家の形成と宗教政策」についての認識を深める。

3. 単元の計画

パート1 (1時間目): 宣教師“フェレイラ”と棄教者“澤野忠庵”
パート2 (2時間目): “隠れユダヤ教徒”と近世ヨーロッパの君主国家・・・本時
パート3 (3時間目): 近世日本の宗教政策と“神国”思想

4. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	歴史に対する関心を高め、意欲的に世界史学習に取り組もうとする。
思考・判断	「近世君主国家の形成と宗教政策」について世界史的視野から考察し、宗教と政治の関わりを追究的に思考(判断)することができる。
技能・表現	「近世君主国家の形成と宗教政策」に関係する資料を適切に活用し、その結果を適切にまとめることができる。
知識・理解	「近世君主国家の形成と宗教政策」を説明する知識を身につけている。

5. 本時の主題 “隠れユダヤ教徒”と近世ヨーロッパの君主国家

6. 本時の目標（習得させたい知識）

近世スペインでは、王権によるユダヤ教禁教政策が行われたが、これにより王権は諸地域へ浸透し、キリスト教的君主国家が形成されるとともに、王権の世俗化も進展した。

- a. 交通の困難さと自然環境の多様性により諸地域ごとに様々な顔を見せるイベリア半島は、中世最大のユダヤ教徒の居住地でもあったが、レコンキスタ運動を進めるキリスト教諸小国では、圧倒的信仰を集めるキリスト教はユダヤ教と寛容な共存を維持していた。
- b. 14～15世紀の反ユダヤ運動により多くのユダヤ教徒はキリスト教に改宗したが、改宗者（コンベルソ）に対する不信感は大きく、改宗者を真に改宗させるため異端審問所が設置され、さらに、それを徹底させるためユダヤ教徒追放令が出された。
- c. 異端審問所は、中世のそれとは異なり王権に帰属する組織で、かつ唯一の全国的な組織であり、これにより王権はモザイク状態の諸地域へ浸透し、宗教的君主国家が形成された。

7. 本時の展開

	発問	教授・学習活動	資料	引き出したい知識	留意点・評価
導入	○なぜスペインはユダヤ教の禁圧を行ったのだろうか。	T：課題の提起。 P：考える。			思考
展開1	○イベリア半島の地理的条件と当時の歴史的状況について確認しておこう。	T：発問する。 P：答える。	①② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性に富んだ地域。 ・キリスト教諸国によるレコンキスタ運動の展開 ・中世最大のユダヤ人居住地 	資料 知識・理解
展開2	<p>○ユダヤ教徒とキリスト教徒との関係はどうだったのか。</p> <p>・共存関係の変化に対して、ユダヤ教徒はどうしたか。</p> <p>・異端審問制度は、効果があったか。</p>	<p>T：発問する。 P：答える。</p> <p>T：発問する。 P：答える。</p> <p>T：発問する。 P：答える。</p>	④⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・寛容な共存が維持されていたが、14～15世紀に反ユダヤ人暴動が起こり始めた。 ・ユダヤ教徒は摩擦を避けるため改宗したが、真の改宗ではなかったため、キリスト教徒の不信は高まり、異端審問制度が導入された。 ・効果はなく、ユダヤ教徒追放令が出され、ユダヤ教徒は宗教の寛容を求めて脱出した。 	<p>知識・理解</p> <p>思考・判断</p> <p>思考・判断 資料</p>
展開3	○なぜスペインはユダヤ教の禁圧を行ったのだろうか。	T：発問する。 P：答える。	①②	<ul style="list-style-type: none"> ・異端審問所は唯一の全国的制度で、多様性に富んだ地域を、宗教を利用して統合しようとした。 	資料 思考 知識・理解
終結	○宗教と政治の関係をまとめてみよう。	T：考えさせる。 P：まとめる。		<ul style="list-style-type: none"> ・神の支配から人の支配への過渡期で、政治が優位に立ちつつある。 	思考・判断 関心・意欲

